

別紙 基本計画案の具体化状況（令和3年9月末段階）

◆入退場

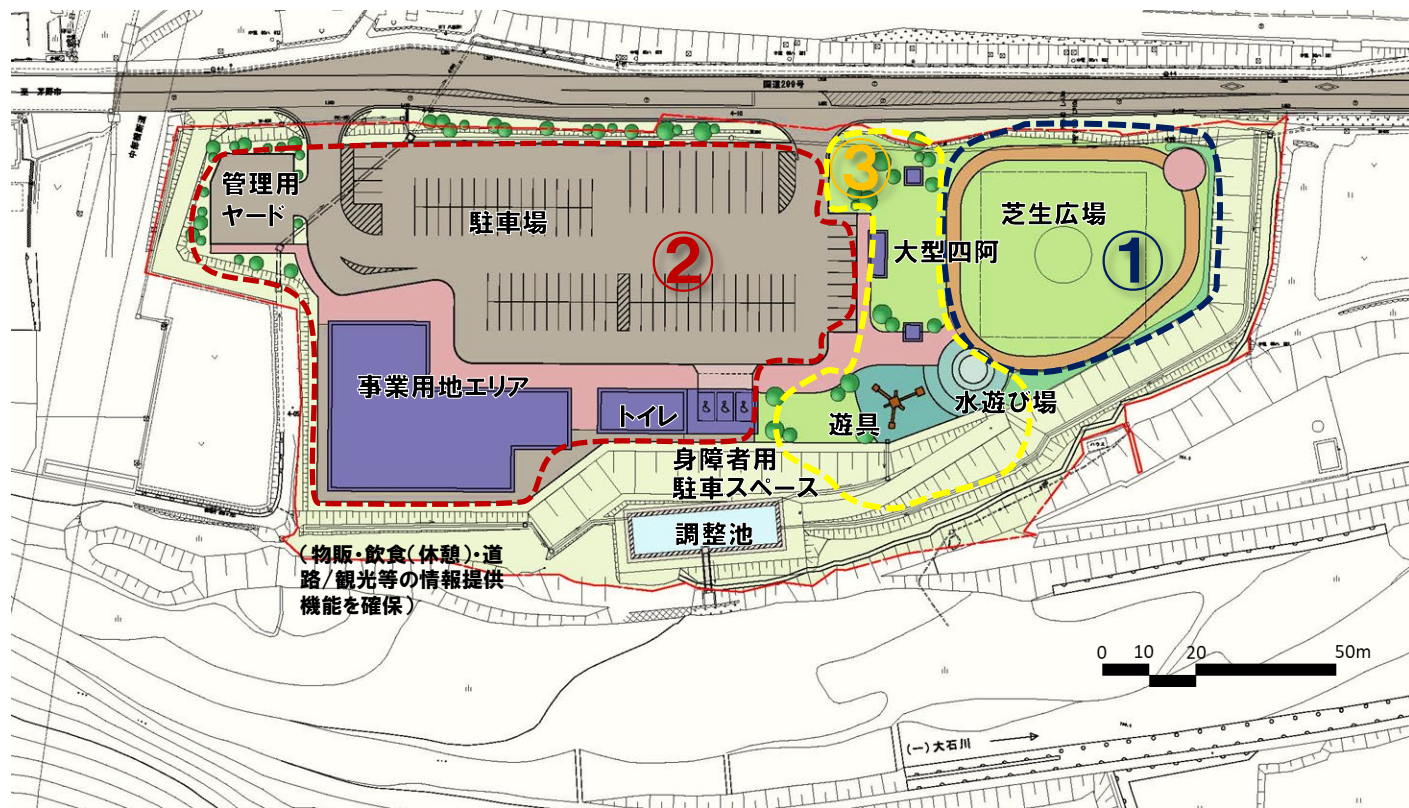
○これまで想定された計画案の入口・出口の位置の考え方を踏襲し、東を入口、西を出口として想定

◆エリア区分

○地域振興だけでなく暮らしにも役立つ道の駅として、ドクターヘリの円滑な進入・着陸が可能な東寄りのエリアに35m四方のオープンスペースが確保できる芝生の広場を整備**(①)**。西側には駐車場や物販飲食(店舗)等を確保**(②)**。

○駐車場と芝生広場の間の空間は、現在の地盤レベルでも大石川の水面・流れを見ることがきることから、子供たちをはじめ様々な世代が憩える空間を確保**(③)**。

- ・イベント時の拠点としても機能するよう大型四阿を確保するほか、遊具、水遊びのポイントも確保。
- ・外周には園路を確保し、散策や健康づくりにも活かせる空間を確保。
- ・大型四阿の東側の一部はキッチンカーなども配置できる設えの広場として整備



◆駐車スペース配置

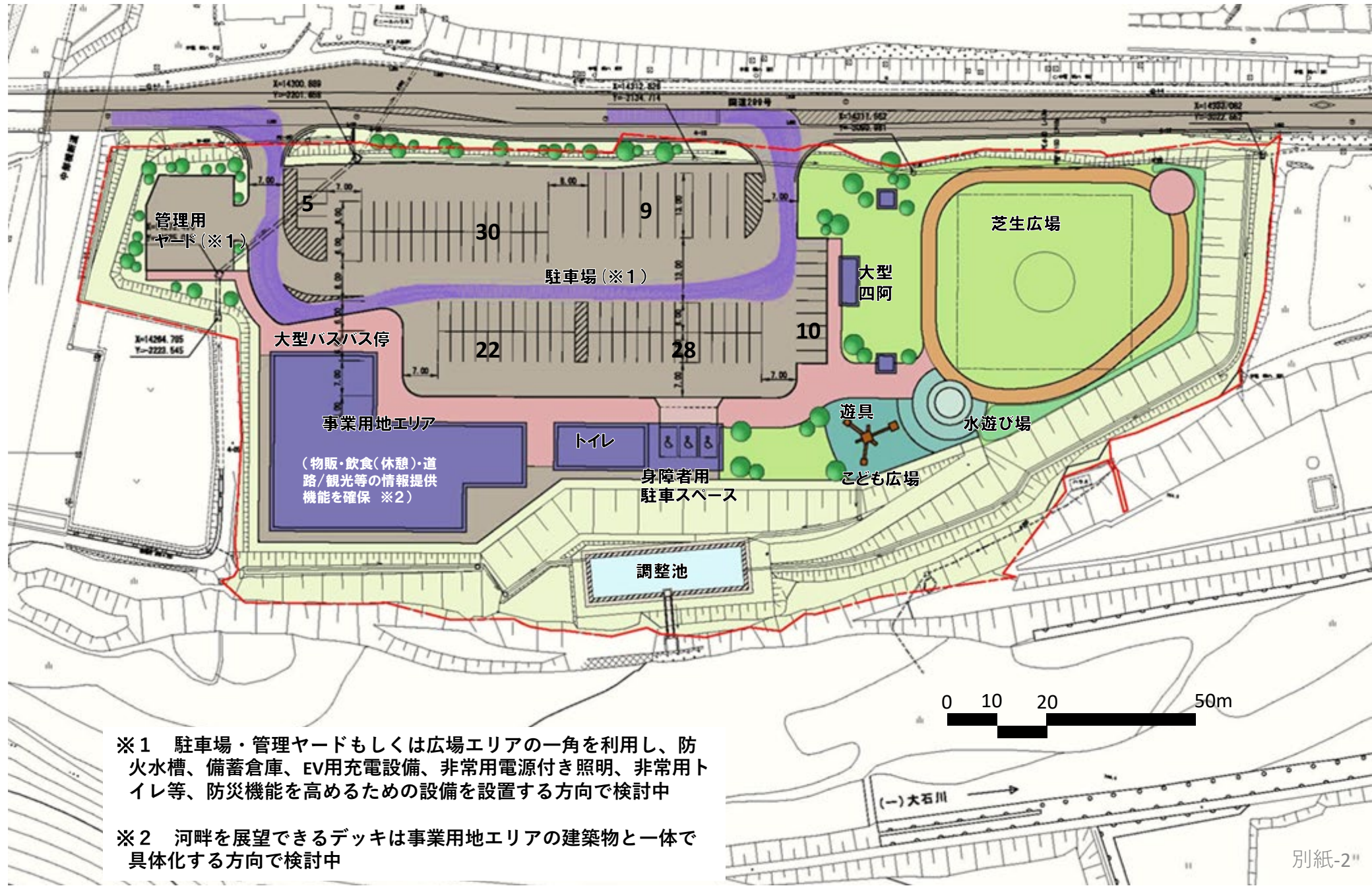
○大型バスの停留スペースを確保しつつ、大型車両が店舗等と一定の距離をもって停車できる駐車マスの配置を検討

○基本計画案に対する駐車スペースのさらなる確保の声が多かった点を考慮し、普通車の駐車マスを増加

◆トイレ・事業用地エリア

- 施設の効率的整備・運営に向け、事業用地エリアに飲食・物販機能のほか、休憩・情報提供機能を集約する機能配置を検討。
- これにより、他の道の駅施設で見られるような小規模で使われないような休憩室や情報提供ブースの乱立を回避
- 河畔を展望するテラスの機能については、事業用地エリア内の建物と一体で確保を検討する。

【参考1】基本計画具体化検討案 (大型バス軌跡を表示)



※1 駐車場・管理ヤードもしくは広場エリアの一角を利用し、防火水槽、備蓄倉庫、EV用充電設備、非常用電源付き照明、非常用トイレ等、防災機能を高めるための設備を設置する方向で検討中

※2 河畔を展望できるデッキは事業用地エリアの建築物と一体で具体化する方向で検討中

【参考2】令和3年2月段階の基本計画書案における計画平面図

